

Canforo

カンフォロ

愛媛県美術館ニュースNo.24 2004

No. 24

A feature 特集展示 1

展覧会「日本美術院の巨匠たちと愛媛の画家たち」より

来年2月11日から3月21日にかけて、当館では特集展示「日本美術院の巨匠たちと愛媛の画家たち」を開催します。当館所蔵の日本画のうち、日本美術院(院展)ゆかりの作品約40点を特集するものです。狩野芳崖・横山大観・菱田春草・安田靫彦・小林古径・前田青邨から平山郁夫にいたる近代日本画の巨匠たちの作品とともに、大智勝観・高橋周桑など本県出身の画家たちの作品も展示します。

ここではその中の一点として梶田半古の《鶴越》を紹介します。

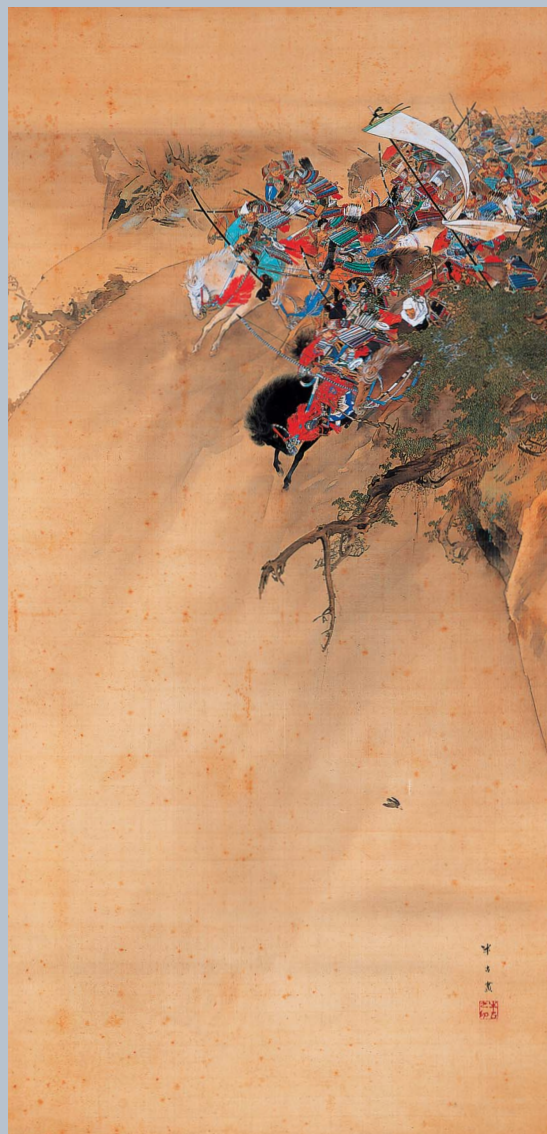
梶田半古は明治3年(1870)東京に生まれました。横山大観・下村観山などライバルの多くが地方出身者だったのとは違い、彼は都会人でした。文学や歴史に精通し、多芸多才の人でしたが、どんな分野でも都会的なセンスのよさを発揮しました。例えば小説家の尾崎紅葉と親しかった彼は新聞小説の挿絵を数多く手がけましたが、そこに描いた女学生の服装は最先端の風俗として当時の若者にもてはやされました。明治の女学生といえば、リボンで結んだ長い髪、海老茶色の袴のモダンな姿を誰しも思い浮かべるでしょう。「海老茶式部」と呼ばれるあの服装が流行したのは半古の挿絵によってでした。

半古22歳の作品《鶴越》を見れば、確かに斬新な中に気品もあって、センスのよさが光っています。

この絵は「源平合戦」における名場面の一つを描いています。『平家物語』巻第九の「坂落」の章によれば、一の谷(神戸市須磨区)の合戦のとき、源義経の率いる源氏の軍勢は、鶴越の断崖の麓にあった平家の陣を襲撃するため、馬にまたがったまま崖を一気に駆け下りたのです。まるで逆さまに落ちるかのような急襲の様子は世に「鶴越の坂落(逆落とし)」と称されました。

この絵の面白いところは、その奇襲の激しさを強調するため、画面の下半分を余白のまま残した点にあります。崖の上から駆け下りようとする義経や、背後に従う弁慶以下の軍勢を画面の上半分に集中させていて、下半分には一点、鳥の飛行する姿を描くのみです。これによって崖の高さがよく分ります。崖の上の軍勢が写実的な描写力と極彩色で緻密に描き込まれているため、画面の上と下では描き込みの密度にかなりの落差があり、「坂落」の凄まじい勢いを効果的に表現しています。簡潔な、しかし大胆な構成です。しかも洗練されていて、原作の古典文学にふさわしい気品があります。

この絵に見るような、気品と前衛性に富んだ彼の画風は、安田靫彦や鍋木清方に影響を与え、また半古の門下からは小林古径や前田青邨など多くの弟子たちが輩出されました。 学芸員 梶岡 秀一



梶田 半古《鶴越》明治25年(1892)

展覧会情報

平成17年2月11日[金] - 3月21日[月]
月曜日休館(ただし、3/21(月・祝)は開館)

会場: 新館1階[企画展示室]

観覧料: 大人300円、高大生200円、小中生100円

※その他料金設定については、美術館までお問い合わせください。

関連講座

【日本画の近代と日本美術院】

明治・大正・昭和の日本画の歴史を、日本美術院(院展)の巨匠たちを中心にたどります。

●2月20日・3月6・20日(各日曜日・全3回) 各10:30~12:00

●対象及び定員: 高校生以上(60名)

※申込み方法については本紙4ページ「各講座の申込方法」のとおり

「人を描く:肖像、裸婦、デッサン」

会 期：平成16年11月10日(水)～3月13日(日) 月曜日及び年末年始(12/29～1/5) 休館
(ただし、1/10(月・祝)は開館、翌1/11(火)は休館)

会 場：新館2階[常設展示室2]

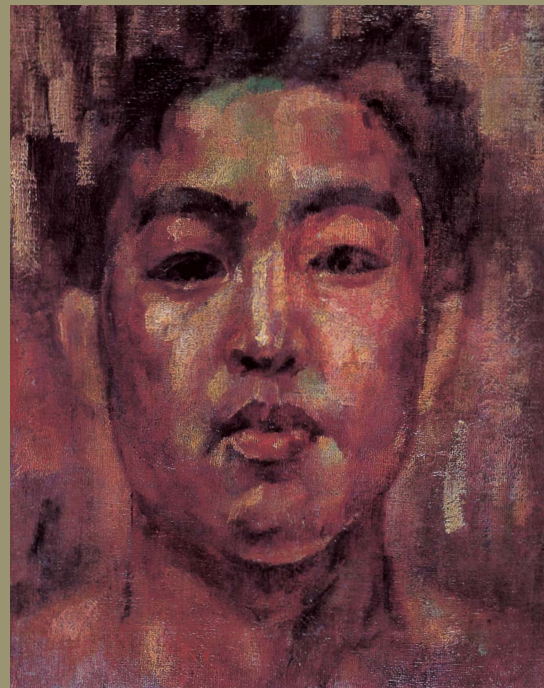
観覧料：大人500円(400円)、高大生400円(320円)

※()内は20名以上の団体割引料金。小中生・高齢者・身障者・友の会会員等は無料

まっすぐにこちらを見つめる青年。彼は何を思っているのでしょうか?これは柳瀬正夢が20歳の頃に描いた自画像です。真正面からの視点、モザイク状の明るいタッチからは、10代半ばで、すでにゴッホ、ムンクなど西洋の画風を吸収し、その後も多彩な活動を見せた彼の勢いが伝わってくるかのようです。本作品を含む肖像画、藤田嗣治、安井曾太郎による堂々たる裸婦像、さらに当館初公開となる小磯良平の端正な婦人像により、油彩による多様な人物表現をご覧ください。また、古茂田公雄、守介兄弟によるデッサン等もあわせて展示します。ヴォリュームや明暗を克明にとらえる鉛筆の線、すっきりと輪郭をかたどるコンテの柔らかい線から、モデルを前にした画家の眼差しを追ってみてはいかがでしょうか。

会場には明治時代後期の水彩画によるミニコーナーも設け、水辺を描いた風景画を中心にをご紹介します。光を映して揺らめく水面、潤いと透明感のある水彩ならではの繊細な色づかいが目を引きまします。なお、1月には半分以上の作品を展示替えしますので、繰り返し足を運んでいただければ幸いです。

学芸員 箱田 千穂



柳瀬 正夢(自画像) 1920年頃

著作権等の関係により
図版を削除しております

古茂田 守介(裸婦)

絵を歩く、絵を旅する—風景へのまなざし

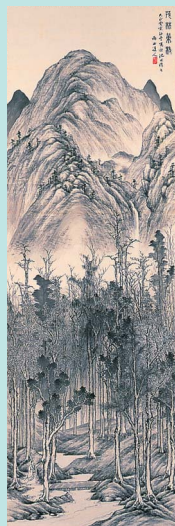
会 期：平成16年10月16日(土)～12月5日(日) 月曜日休館

会 場：愛媛県美術館分館 郷土美術館2階

観覧料：大人100(80)円、高大生50(40)円 ※()内は20名以上の団体割引料金。小中生・高齢者・身障者・友の会会員等は無料



遠藤広実(山水之図) 江戸時代後期



白井雨山(茂林築枝図) 大正12年(1923)

日本人の旅行好きは今に始まったことではなく、旅の風景を絵にすることもまた、旅の歴史とともに展開してきたと言えます。歌に詠まれるような「名」のある場所＝「名所」を描いた「名所絵」は、平安時代以来、日本絵画の伝統的な主題として長く描き継がれ、江戸の文人たちは「万卷の書を読み、万里の道を行く」というモットーを实践すべく、多くの書物を読破して教養を高め、旅先で出会った人々との交遊の中で得た感興で絵筆を走らせたのです。

ただしひと口に「風景画」と言っても、その全てが実景の再現ではありません。絵とは基本的にはフィクションであり、どれだけ写實的に描かれていても、それは画家個人のまなざしを通して表現された世界です。特に近代以前では、風景を描いた絵の多くは「山水画」と呼ばれるもので、実際の旅で得た感興が作画の動機になってはいても、最終的には文人たちの憧れ求める理想郷として描かれることが前提なのです。

本展では、日本画における「風景へのまなざし」をテーマに、当館所蔵品及び寄託品より江戸時代から現代までの作品15点を展示します。画家たちは、どのように風景を眺め、どう表現してきたのか。彼らの水先案内に導かれて、皆さんも絵の中へと歩みを進めてみてください。

学芸員 長井 健

INFORMATION

移動美術館 「杉浦非水の足跡～つくられるイメージ～」



非水といえば、三越呉服店など華やかなポスター作品で知られますが、今回はそうした作品とあわせて、たばこのパッケージなどの小品も展示します。「光」「響」「扶桑」をはじめ、いずれも銘柄のイメージを伝えるために、図柄や配色、レイアウトに試行錯誤を重ねた逸品ぞろい。総合科学博物館への巡回では、「懐かしい。若い頃によく吸うとったよ。」とお客様にも好評でした。また、今回初公開となる非水宛ての年賀状も、干支の動物たちのしゃれた図案が目を楽しませてくれます。年明けには南予の歴史文化博物館へ巡回します。この小さな名品たちをぜひご覧ください。

学芸員 箱田 千穂

巡回先

■愛媛県歴史文化博物館 平成17年1月22日(土)～2月6日(日)月曜日休館・入場無料
<ギャラリートーク>1月23、30日、2月6日(各日曜日) 10:30～11:30・14:30～15:30



体験コーナーもあるよ!
迷デザイナーに挑戦中。

夏休みのこどものためのプログラム



この夏休み、美術館では子どもたちが楽しめる工夫をしてみました。

1つは、エントランスホール。いつもどちらかと言えば大人のムードの空間のエントランスホールに、絵の具で染めた紙(実は「べたべたスタンプ」で出来たもの)を海の生き物に形どり、外に面したガラスに張りつけ、展示室に入るまでにも遊びのある空間を演出してみました。

もう1つは、アトリエを利用して作る楽しさを味わってもらおうと、アトリエ体験コーナーを設けました。柿渋染めの濃淡で絵を描いたり、テカルコマニー(わかせ絵)をしたり、ちょっとした作品づくりが気軽に体験できるといことで、アトリエは連日子どもたちで賑わいました。

もちろん、恒例のこどもアートクラスやこどもを対象とした実技講座、美術体験講座も実施しました。その中で下手絵日記作家の神山さんを講師に開催した「これもアート！よい子とおいさんの工作づくり」については、神山さんのレポートでお楽しみください。

「これもアート よい子とおいさんの 工作づくり」日記

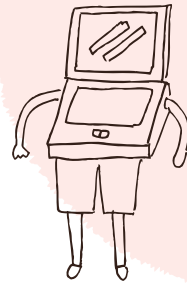


神山恭昭
こうやま たかひろ

この夏、愛媛県美術館で「よい子とおいさんの工作づくり」という工作教室みたいなのをしました。ゆめながらいいネーミングだと思っていたら、アシスタントをしてくれた私の娘の言うには「工作づくり」というのは「腹痛が痛い」というようなもので、日本語としてはならないぞです。

まあ、それはいいのですが、えせ工作先生である私は子供らを相手に何をしたのかと言うと、家族を作ってもらいました。一日三時間の三日間、合計九時間かけて不用品や紙粘土を使って作る家族です。

こどもひとつだけ条件を出しました。その家族

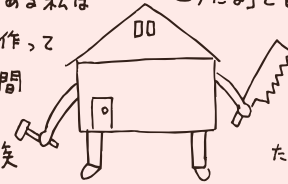


パソコンをセリフがな弟

の好きなもの、あるいはその人が夢中になっているものを体の一部とするこです。

今は何でも決められた時間内に決められたものを効率よく作ることが求められています。けど子供の頃からは、のんびり好きなように私はそういうのは大の苦手です。

教えるような知識も技術も持っていないインチキ先生である私は、子供らにこの三日間ぐういはせめてよめこれ考ええ、もらって、



おうちをたてるおとさん

ゆっくりしらせてもらおう、と考えたのです。

実際、「工作づくり」をやってみると、

ささとして二個目にかかる子、二日の後半になっても設計図用の

白い画用紙をじと見つめている子、出来具合にこだわるきょうめんな子、家族とは全然関係のないものを作った子(設計図では家族なのに…)、「おいさんよりぼくのほうが工作が上手だよ」と言う子(なるほど本当だ)、黒々と作品を作ると

腹が減ったと絵の具をなめる子という子もいました。今の子は個性がないというのはウソですね。

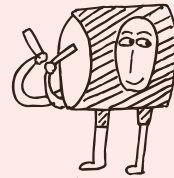
そして何人もの子が「おいちゃん、これどうしたらええん?」と稚拙な技術の私を頼ってくる

太石先生(おいな)になったような気分です。

三日間の「工作づくり」はあっという間に終わりました。そして全員が家族をかたちにすることができました。

子供らが楽しんでくれたかどうかはよくわからないのですが、三日間の工作づくりで一番成果を得たのは、この私でした。

出世もしないで、あせげな物を作り続けしてきた我が人生の正しさを実感し、よその子供がこんなにも可愛いのかとあらためて知れたからです。イラストは子供らの作品の一部です。ほかにも素晴らしいのが沢山ありました。



お兄ちゃんといこ

びじゅつかんのできごと

8月 ▶ 10月

- 8月 1日(日)～7日(土) 博物館実習・15名受け入れ
- 8月 12日(木) ふれあいアート・センター開室式
- 8月 27日(金)～28日(土) 松山市10年教職員研修・3名受け入れ
- 9月 17日(金) 「東京富士美術館所蔵 印象派と西洋絵画の巨匠展」開展示・特別鑑賞会
- 9月 29日(水) 愛媛県美術館協議会開催
- 9月 30日(木) 松山市立余土中学校ほか職場体験・7名受け入れ
- 10月 1日(金) ミュージアム・コンサート
「印象派ピアノコンサートの夕べ」入場者130名
- 10月 16日(土)～11月7日(日) 平成16年度第53回秋季県展開催
(主催/愛媛県美術会ほか)



美術館日記

博物館実習は、例年8月1日～7日まで、休館日の月曜日を除いた6日間実施しています。



本年度は、地元の愛媛大学、松山東雲女子大学をはじめ、奈良女子大学、名古屋芸術大学など、9大学15名の学生が学芸員資格取得のため受講しました。実習は展覧会事業、作品の保存、普及事業などに関する講義や絵画、工芸品など作品の取扱い実習などバラエティに富んだ内容で、当館学芸員が講師を務めました。学芸課長 一色 常道

HPリニューアル







<http://joho.ehime-iinet.or.jp/art/>

9月にホームページをリニューアルしました。内容の充実はもちろん、視覚障害者向けに音声読み上げガイドを開設したほか、携帯電話からのアクセスも可能となりました。快適にご利用いただけるような工夫、見やすさを追求してみましたので、早速アクセスしてみてください。



展覧会の広報のためにポスターの掲示場所を無料で提供していただける方を募集します。ご協力いただける方には、ポスターを送付させていただきますので、貼っていただける場所と協力者の氏名・住所・電話番号を明記し、はがきまたはFAXにて愛媛県美術館普及係までお申し込みください。

ポスター掲示
ご協力いただけ
ませんか。

		11	12	1	2	
企画展示室		江戸絵画への熱いまなざし —インディアナポリス美術館名品展 11/6(土)–12/26(日) TOPICS 関連講座「屏風の居場所」・「貝あわせ」		日本美術院の巨匠たちと 愛媛の画家たち 2/11(金)–3/21(月) P.1		
常設展示室	1.日本画・書	松本山雪の屏風 11/10(水)–12/28(火)		冬の景色 1/6(木)–3/13(日)		
	2.洋画	人を描く:肖像、裸婦、デッサン 11/10(水)–3/13(日) P.2				
	3.現代美術	夢 イメージの世界 11/10(水)–3/13(日)				
特別展示室	1.西洋美術	19~20世紀の絵画・彫刻 9/7(火)–12/28(火)		19~20世紀の絵画・彫刻 1/6(木)–5月		
	2.福田平八郎	初冬の風物 11/10(水)–12/28(火)		冬の風物 1/6(木)–3/13(日)		
	3.郷土作家	古茂田公雄、守介 9/7(火)–12/28(火)		物外と江戸時代の書 1/6(木)–3/13(日)		
分館		絵を歩く、絵を旅する —風景へのまなざし 10/16(土)–12/5(日) P.2		小さな永遠 —吉田勝彦の銅版画 1/29(土)–3/13(日)		
普及活動	実技講座 アトリエ入門 つむいでみよう(全2回)	A B C いずれかを選択	A 11/27(土)・28(日) A・B・Cとも各10:30~15:00 中学生以上(5名) ふわふわの羊毛を紡ぎ、自分らしい毛糸を作ってみませんか?		B 2/19(土)・20(日) C 3/5(土)・6(日)	
	体験講座 屏風の居場所		11/13(土) 14:00~16:00 中学生以上(20名) 展示ケース越しではなく、屏風の置かれていた「場」を体験してみよう。			
	体験講座 貝あわせ		11/27(土) 13:30~15:30 中学生以上(20名) 平安時代にはじまった貝あわせ。 昔の人になって作って遊んでみませんか。			
	体験講座 親子でまねき猫		12/4(土) 13:30~16:30 親子(10組) ねんどでオリジナルのまねき猫をつくって 素焼きします。どんな福をまねくかな?			
	体験講座 ボールごまをつくらう			1/15(土) 13:30~15:00 4歳児以上(15名) 花火の火やく玉のカラーを使って ステキなごまをつくらう。		

【各講座の申込方法】

往復はがきに希望講座名・郵便番号・住所・氏名(フリガナ)・年齢・電話番号を記入し、開講日の2週間前までにお申し込みください。詳しくは、普及係までお問い合わせください。
※定員に満たない場合は、申込締切後にも受け付けています。応募者多数の場合は抽選となります。

TOPICS

江戸絵画への熱いまなざし インディアナポリス美術館名品展 11/6(土)–12/26(日)

狩野派、土佐派、琳派、円山四条派、文人画、浮世絵といった江戸絵画のジャンルを網羅している米国インディアナポリス美術館のコレクションが里帰り展という形でまとまって公開されます。海外からの眼という新たな見方を加えて、江戸絵画の魅力をお楽しみください。

関連事業

【ギャラリートーク】

- 会期中、毎日曜日 14:30~
当日、企画展示室前にお集まりください。(企画展観覧券が必要となります。)

【講演会】

- 11/27(土) 14:30~15:30 当日、講堂にお集まりください。
「インディアナポリス美術館名品展開催の意義」講師：当館館長 原田 平作

11/27(土)
無料開放デー

著作権等の関係により
図版を削除しております

岸谷「岩上孔雀園」
インディアナポリス美術館蔵 Mr. and Mrs. Richard Crane Fund

11/27(土)
無料開放デー



11/27(土) 美術館開館記念日 無料開放デー

1998年11月27日に、愛媛県美術館は開館しました。今年よりその記念日に観覧料を無料とします。あわせて、講演会、コンサートなどの催し物を開催しますので、1日ゆっくりと美術館で過ごしてみませんか。

ご利用案内 ■開館時間:9:40~18:00(入場は17:30まで) ■休館日:毎週月曜日(祝日及び振り替え休日に当たる場合は、その翌日)12/29~1/5

アトリエ 利用時間 9:40~18:00

創作活動のできるスペース、アトリエはどなたでも自由にご利用いただけます。お申し込みは、お電話か、直接来館して予約してください。

- 利用内容:版画・木工・染織・写真・粘土など
- お問い合わせ先:ふれあいアートセンター tel.089-932-0147

講堂・研修室・県民ギャラリー

講演会、研修、作品発表の会場として講堂(定員120名)、研修室(定員56名)、県民ギャラリー(12室)がご利用いただけます。料金等、詳細については、当美術館総務課まで、お問い合わせください。



ハトの声(編集後記)

カンフォロは22号より発行部数が少なくなり、ついに稀少冊子となってしまいました。数に限りはありますが、カンフォロが欲しいという方は、ご来館いただければ入手できます。ちなみに内容を楽しみたい方は、ホームページでもご覧いただけます。(M.I.)



愛媛県美術館

〒790-0007 愛媛県松山市堀之内
TEL 089-932-0010 FAX 089-932-0511
<http://joho.ehime-iinet.or.jp/art/>